

# 経営者としての責任と役割

## ～ 情報セキュリティ対策を怠る事で被る不利益とは ～

経営者・管理者向けコース — No.1

## 導入



ITの普及や利活用により経営効率が向上した反面、ITの普及以前には想定し得なかった秘密情報や個人情報の漏洩(ろうえい)による、高額の賠償請求や金銭的損失を伴う事故が増えています。

導入



さらに、近年では事故やその影響も多様化し、金銭的損失以外の不利益も顕著になっています。

## 導入



こうした事態に遭遇した時、経営者であるあなたは、適切な判断を下すことや、部下に指示を出すことが出来るでしょうか。

**事例**

おはよう、田端さん！  
ちょっといいかな？



**事例**

社長、おはようございます。  
どうされました？

**事例**

ちょっと話を聞いてくれないか？  
今朝 嫌な夢を見てしまった。

夢ですか？



## 事例

そう、  
わが社から個人情報の漏洩(ろうえい)が発覚して  
謝罪してる夢だったんだよ、  
顧客や関係者からの抗議の電話やメールで。  
でも何もしゃべれなくてな・・・  
それで目が覚めたんだ。





**事例**

それはたしかに嫌な夢でしたね。

でも、万が一現実になってしまった場合、  
企業として説明ができないのは印象が良くありませんね。

**事例**

やはりそうだよな、  
知らぬ存ぜぬで社員任せが一番良くない。

その通りです。



## 事例

私の責任で対応を考えなければ  
いけないのはわかっているんだが、  
具体的にどうすればいいのか、と考え始めてな。



事例

そうですか、社長は既に情報セキュリティ対策が経営に大きな影響を与えることはご存知ですね。

それはわかっているつもりだ。  
対策をおろそかにして個人情報を漏洩させたら、  
高額な賠償金を払わないといけなくなる場合があるからな。  
下手をしたら会社が傾くぞ。



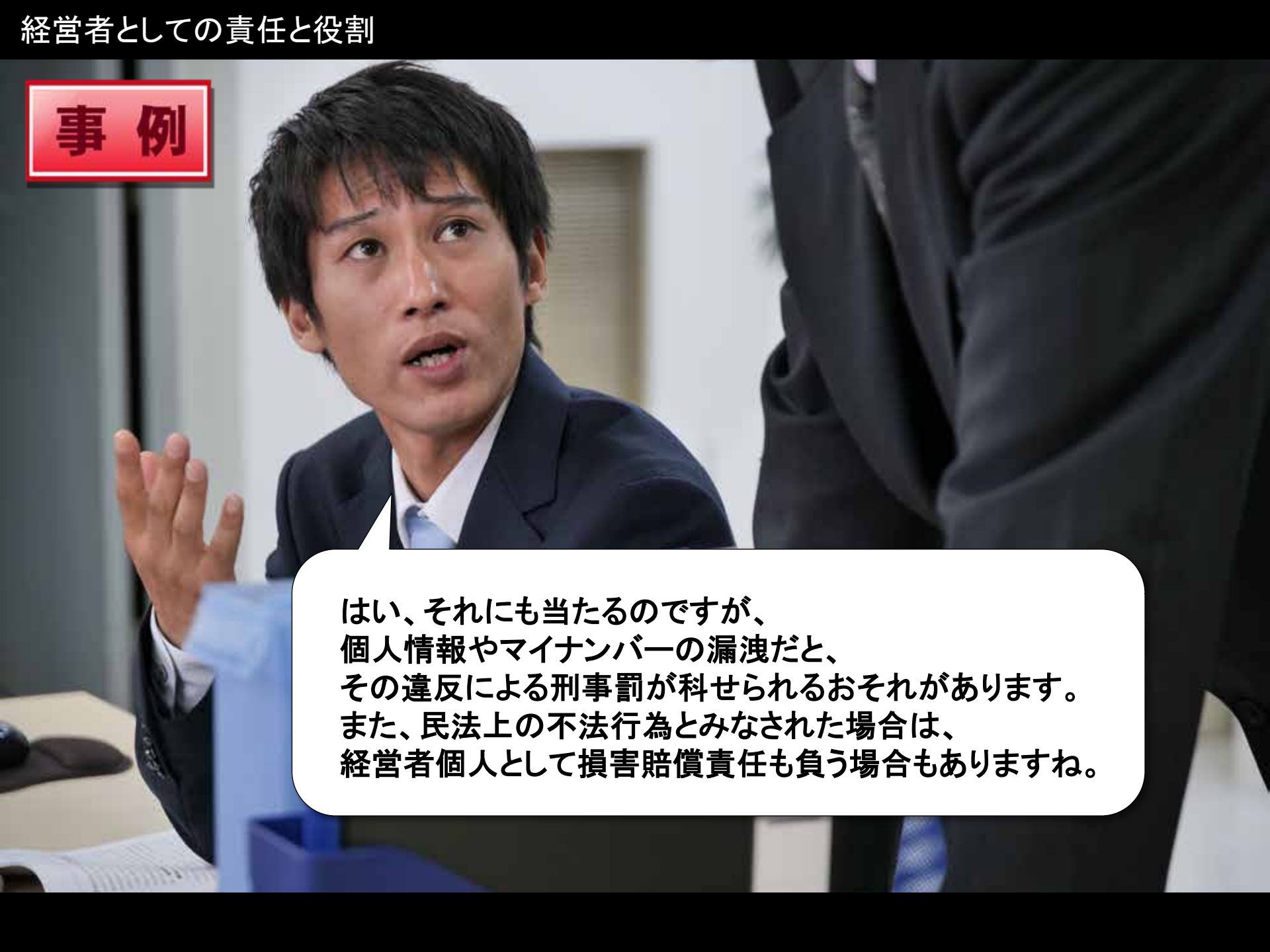
**事例**

そうですね。  
では、経営者の責任についてはいかがですか？

うーん、ただ謝罪して終わりってことじゃないのはわかるが…  
漏洩したことの管理義務違反とかに当たるのか？



事例

A man in a dark blue suit and light blue shirt is shown from the chest up, looking slightly to his right with a surprised or concerned expression. His mouth is open as if he is speaking. His right hand is raised, with fingers spread. In the background, another person in a dark suit is partially visible. A white speech bubble with a black border is positioned in the lower right, containing Japanese text.

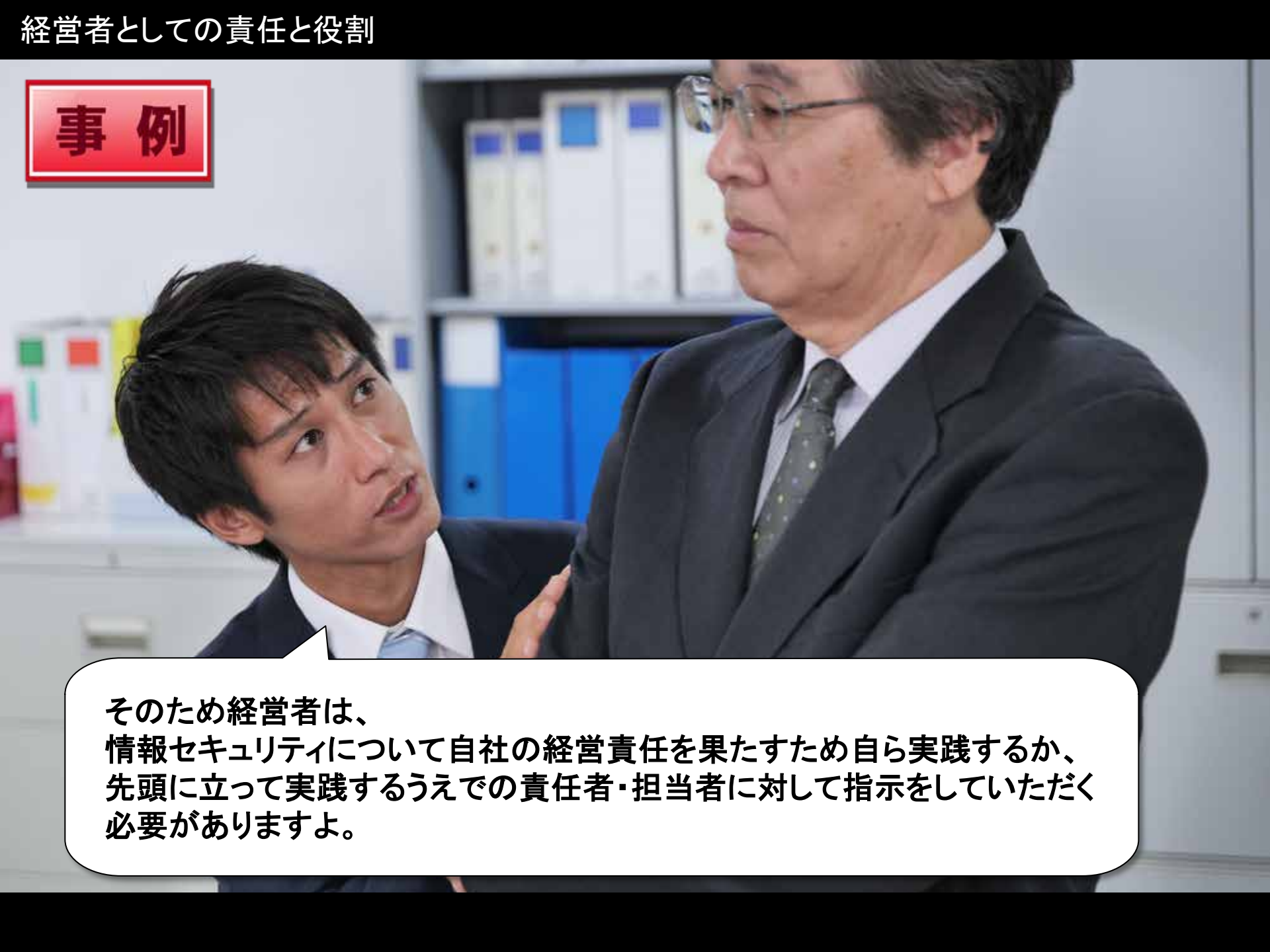
はい、それにも当たるのですが、  
個人情報やマイナンバーの漏洩だと、  
その違反による刑事罰が科せられるおそれがあります。  
また、民法上の不法行為とみなされた場合は、  
経営者個人として損害賠償責任も負う場合もありますね。

## 事例

刑事罰や、個人でも賠償金を負う場合もあるのか！？  
それは大変なことだな。

そうですね、  
やはり経営者の責任は自ずと重くなりますね。

**事例**



そのため経営者は、  
情報セキュリティについて自社の経営責任を果たすため自ら実践するか、  
先頭に立って実践するうえでの責任者・担当者に対して指示をしていただく  
必要がありますよ。

事例

よろしくお願いいたします、社長！

ああ、とんだ夢を見たもんだな。

## 学習の意図

	条項	処罰など
個人情報保護法 個人情報の保護に関する法律	40条 報告及び立入検査	委員会による立入検査、帳簿書類等の物件検査及び質問
	83条 個人情報データベース等不正提供罪※	1年以下の懲役又は50万円以下の罰金
	84条 委員会からの命令に違反	6月以下の懲役又は30万円以下の罰金
	85条 委員会への虚偽の報告など	30万円以下の罰金
	87条 両罰規定	従業者等が業務に関し違反行為をした場合、法人に対しても罰金刑
マイナンバー法 (番号法) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	48条 正当な理由なく特定個人情報ファイルを提供	4年以下の懲役若しくは200万円以下の罰金又は併科
	49条 不正な利益を図る目的で、個人番号を提供又は盗用	3年以下の懲役若しくは150万円以下の罰金又は併科
	50条 情報提供ネットワークシステムに関する秘密を漏えい又は盗用	同上
	51条 人を欺き、人に暴行を加え、人を脅迫し、又は、財物の窃取、施設への侵入、不正アクセス等により個人番号を取得	3年以下の懲役又は150万円以下の罰金
	53条 委員会からの命令に違反	2年以下の懲役又は50万円以下の罰金
	54条 委員会への虚偽の報告など	1年以下の懲役又は50万円以下の罰金
	55条 偽りその他不正の手段により個人番号カード等を取得	6月以下の懲役又は50万円以下の罰金
	57条 両罰規定	従業者等が業務に関し違反行為をした場合、法人に対しても罰金刑
不正競争防止法 営業秘密・限定提供データに係る不正行為の防止など	3条 差止請求	利益を侵害された者からの侵害の停止又は予防の請求
	4条 損害賠償請求	利益を侵害した者は損害を賠償する責任
	14条 信頼回復措置請求	信用を害された者からの信用回復措置請求
金融商品取引法 インサイダー取引の規制など	197条の2 刑事罰	5年以下の懲役若しくは500万円以下の罰金又はこれらの併科
	207条1項2号 両罰規定	従業者等が業務に関し違反行為をした場合、法人に対しても罰金刑
	198条の2 没収・追徴	犯罪行為により得た財産の必要的没収・追徴
	175条 課徴金	違反者の経済的利得相当額
民法	709条 不法行為による損害賠償	故意又は過失によって他人の権利又は法律上保護される利益を侵害した者は、これによって生じた損害を賠償する責任を負う

※データベース等不正提供罪 改正個人情報保護法で新設され、役員・従業者等が不正な利益を図る目的で個人情報データベース等を他者に提供等したり盗用した場合は処罰対象になります

情報セキュリティ対策を的確に指揮しなかったことに起因する業績の悪化などが、経営者の責任であることは言うまでもありませんが、企業が個人情報などの法的な管理義務がある情報を適切に管理していなかった場合、経営者や役員、担当者は法的責任に問われることになります。



## 学習の意図



また、適切に管理することを前提に預かった情報を漏洩(ろうえい)してしまった場合、問われるのは前述の法的責任に加え、その情報の提供者や顧客などの関係者に対する責任もあります。さらには、取引先との信頼関係の喪失、業界全体のイメージダウンにもなってしまいます。したがって、情報セキュリティ対策は、そのような関係者等に対する経営者としての責任を果たすためにも重要になります。

## 学習の意図

「経営者としての責任と役割」について、以下を学習しましょう。

1. 情報セキュリティ対策は経営者のリーダーシップで進める。

### 正しい対処法



経営者は、IT活用を推進する中で、情報セキュリティ対策の重要性を認識し、自らリーダーシップを発揮して対策を進めます。現場の従業員は、安心して業務に従事できる環境を求める一方、利便性が低下し、面倒な作業を伴う対策には抵抗感を示しがちです。そこで、情報セキュリティ対策は、経営者が判断して意思決定し、自社の事業に見合った情報セキュリティ対策の実施を主導します。

## 正しい対処法



業務の一部を外部に委託するにあたって重要な情報を委託先に提供する場合、委託先がどのような情報セキュリティ対策を行っているか考慮する必要があります。委託先に提供した情報が漏洩(ろうえい)したり、改ざんされたとき、それが委託先の不備だったとしても、事故の影響を受ける者から委託元としての管理責任を問われることになります。良好な関係を保つためにも、情報セキュリティ対策に関しても、自社同様に十分な注意を払いましょう。



## 正しい対処法



業務上の関係者（顧客、取引先、委託先、代理店、利用者、株主など）からの信頼を高めるには、普段から自社の情報セキュリティ対策や、事故が起きたときの対応について、関係者に明確に説明できるように経営者自身が理解し、整理しておくことが重要です。情報セキュリティに関する取組方針を常日頃より関係者に伝えておくことで、サイバー攻撃によるウイルス感染や情報漏洩などが発生した際にも、説明責任を果たすことができ、必要以上の不安を与えることなく、信頼関係を維持することができます。



## 確認テスト 問題

### No.1 経営者としての責任と役割

～情報セキュリティ対策を怠る事で被る不利益とは～

#### Q1

情報セキュリティに対する経営者としての責任や役割について、適切なものはどれか。

#### 選択肢

- |  |  |
|--|--|
|  | 1. 法的な管理義務がある情報を適切に管理していなかった場合、責任者のみが責任を問われることになる。 |
|  | 2. 経営者が個人として損害賠償責任を負う場合がある。                        |
|  | 3. 情報セキュリティ対策は担当者に全て任せておく。                         |

次のページで正解と  
解説を確認しましょう

## 確認テスト 正解と解説

### Q1

情報セキュリティに対する経営者としての責任や役割について、適切なものはどれか。

正解	選択肢
	1. 法的な管理義務がある情報を適切に管理していなかった場合、責任者のみが責任を問われることになる。
●	2. 経営者が個人として損害賠償責任を負う場合がある。
	3. 情報セキュリティ対策は担当者に全て任せておく。

### 【解説】

情報を適切に管理していなかった場合は、経営者や役員、担当者が責任を問われることになります。また、情報セキュリティ対策は、担当者等に全て任すのではなく、経営者自らリーダーシップを発揮して対策を行ないましょう。